



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社うるる 上場取引所 東  
 コード番号 3979 URL https://www.uluru.biz/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 知也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 近藤 浩計 TEL 03(6221)3069  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,346	5.0	268	23.8	268	27.6	197	20.2
29年3月期第3四半期	1,281	—	217	—	210	—	164	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 197百万円 (21.1%) 29年3月期第3四半期 163百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	61.04	59.53
29年3月期第3四半期	58.78	—

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できず記載しておりません

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,690	1,851	68.8
29年3月期	2,519	1,653	65.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,851百万円 29年3月期 1,653百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,884	9.4	376	55.6	376	75.1	272	12.5	83.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,241,100株	29年3月期	3,241,100株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,241,100株	29年3月期3Q	2,799,800株

(注) 1. 当社は、平成28年8月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

2. 29年3月期の期中平均株式数には、1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎として、普通株式と同等の株式数361,024株を含んだ株式数となっております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)における我が国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に、雇用環境や企業業績の改善が見られる一方、英国のEU離脱や東アジア地域における地政学的リスクの影響により海外経済の不確実性が高まるなど、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、当社グループのビジネスの中核である、クラウドソーシングのクラウドワーカーを活用して生み出されたサービスを展開するCGS事業においては、官公庁等の入札情報を提供する入札情報速報サービス「NJS S(エヌジェス)」が業績を牽引しておりますが、国内情報サービス業の売上高規模は平成29年においては11兆3,814億円(前年比3.5%増加)と6年連続で成長を続けております(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」)。また、CGSのリソース供給源であるクラウドソーシングの市場規模は、矢野経済研究所「BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)市場の実態と展望 2016-2017」によると、平成28年度の流通金額規模(仕事依頼金額ベース)は前年比46.2%増の950億円となっており、平成32年度には2,950億円に達すると予測されています。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、CGS事業で展開する入札情報速報サービス「NJS S」の拡大、及び新規CGSの創出に継続して注力して参りました。また、CGSのリソース供給源である、クラウドソーシングサービス「シュフティ」のUI・UXの改善、そして企業のアウトソーシング・ニーズに対応するBPO事業については、将来の売上・利益につながる受注獲得のための営業活動に注力いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,346,094千円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益は268,655千円(前年同四半期比23.8%増)、経常利益は268,162千円(前年同四半期比27.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は197,841千円(前年同四半期比20.2%増)となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① CGS事業

CGS事業におきましては、業績を牽引する「NJS S」については、入札・落札案件情報を閲覧できるウェブサービスの販売高増加に加え、入札に関するサービス提供範囲の拡大のための、入札資格の管理支援サービスの提供が伸長しました。新規CGSの1つである「えんフォト」につきましても、順調に事業成長いたしました。そして、2017年5月にサービス提供を開始した新規CGSである、クラウドワーカーを活用したコール代行サービス「フレックスコール」の受注状況が順調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるCGS事業の売上高は888,564千円(前年同四半期比19.4%増)となり、セグメント利益は506,442千円(前年同四半期比33.2%増)となりました。

## ② BPO事業

BPO事業におきましては、大規模案件の獲得に注力してきたものの、大規模案件の受注獲得が想定ほど進捗しませんでした。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるBPO事業の売上高は430,698千円(前年同四半期比14.7%減)となり、セグメント利益は32,131千円(前年同四半期比63.0%減)となりました。

## ③ クラウドソーシング事業

クラウドソーシング事業におきましては、登録クラウドワーカーが約36万人まで増加しました。また、CGS事業やBPO事業のプラットフォームとしての位置付けから、ユーザー利便性を高めるためのシステム改修を継続しております。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるクラウドソーシング事業の売上高は26,831千円(前年同四半期比18.2%減)となり、セグメント損失は67,725千円(前年同四半期は67,980千円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産については、前連結会計年度末と比べ170,283千円増加し、2,690,276千円となりました。これは主に現金及び預金の増加141,291千円、売掛金の増加13,904千円によるものです。

負債については、前連結会計年度末と比べ27,156千円減少し、838,884千円となりました。これは主に前受金の増加77,116千円、未払法人税等の減少33,858千円、流動負債にかかるその他の減少95,720千円によるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べ197,439千円増加し、1,851,392千円となりました。これは主に利益剰余金の増加197,841千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日において、平成30年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,226,803	2,368,095
売掛金	93,243	107,147
仕掛品	1,819	23,766
その他	109,163	98,665
貸倒引当金	△1,132	△876
流動資産合計	2,429,898	2,596,798
固定資産		
有形固定資産	39,795	45,413
無形固定資産	6,024	4,573
投資その他の資産	44,275	43,490
固定資産合計	90,094	93,477
資産合計	2,519,993	2,690,276
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	46,716	71,928
1年内返済予定の長期借入金	16,668	11,345
未払法人税等	58,808	24,949
前受金	406,238	483,354
賞与引当金	—	12,039
その他	327,636	231,916
流動負債合計	856,067	835,534
固定負債		
長期借入金	9,973	3,350
固定負債合計	9,973	3,350
負債合計	866,040	838,884
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	944,157	944,157
資本剰余金	926,457	926,457
利益剰余金	△216,119	△18,278
株主資本合計	1,654,494	1,852,335
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△686	△1,098
その他の包括利益累計額合計	△686	△1,098
非支配株主持分	144	154
純資産合計	1,653,952	1,851,392
負債純資産合計	2,519,993	2,690,276

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,281,729	1,346,094
売上原価	408,866	405,605
売上総利益	872,863	940,489
販売費及び一般管理費	655,850	671,833
営業利益	217,013	268,655
営業外収益		
受取利息	41	27
ポイント収入額	651	447
その他	506	62
営業外収益合計	1,200	537
営業外費用		
支払利息	350	181
株式公開費用	7,021	—
為替差損	586	848
その他	21	—
営業外費用合計	7,980	1,030
経常利益	210,232	268,162
税金等調整前四半期純利益	210,232	268,162
法人税、住民税及び事業税	45,409	31,447
法人税等調整額	248	38,865
法人税等合計	45,658	70,313
四半期純利益	164,574	197,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,567	197,841

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	164,574	197,849
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,479	△415
その他の包括利益合計	△1,479	△415
四半期包括利益	163,095	197,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,103	197,429
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	CGS事業	BPO事業	クラウドソー シング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	744,197	504,747	32,784	1,281,729	—	1,281,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,997	26,202	2,383	39,583	△39,583	—
計	755,194	530,949	35,168	1,321,312	△39,583	1,281,729
セグメント利益又は損失(△)	380,084	86,942	△67,980	399,047	△182,034	217,013

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△182,034千円は、セグメント間取引消去398千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に販売費及び一般管理費)△182,432千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	CGS事業	BPO事業	クラウドソー シング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	888,564	430,698	26,831	1,346,094	—	1,346,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,475	5,788	1,504	21,768	△21,768	—
計	903,040	436,487	28,335	1,367,863	△21,768	1,346,094
セグメント利益又は損失(△)	506,442	32,131	△67,725	470,848	△202,192	268,655

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△202,192千円は、セグメント間取引消去171千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に販売費及び一般管理費)△202,363千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。